

2W 携帯型 デジタル トランシーバー

シンプルキー モデル

SRD580

SRD580-BT  Bluetooth®

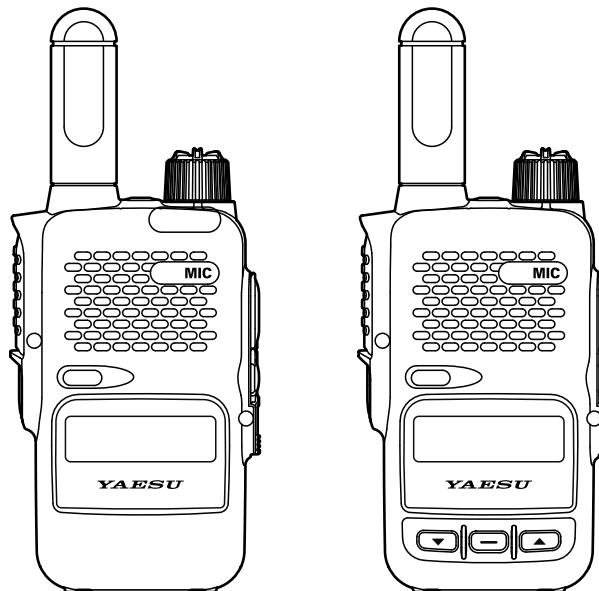
フロントキー付き モデル

SRD585

SRD585-BT  Bluetooth®

3R 3S 3T 3U 登録局

取扱説明書



シンプルキー モデル

SRD580

SRD580-BT Bluetooth 仕様

フロントキー付き モデル

SRD585

SRD585-BT Bluetooth 仕様

お買い上げいただき、ありがとうございました
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください
お読みになった後は、大切に保管してください
この無線機は国内専用モデルです。海外では使用できません

目 次

各モード共通	応用編
はじめに 1	④ テレポート機能を変更する 18
正しくご使用いただくために 1	自動混信回避モードの時のテレポート機能の 項目リスト 19
YAESU コネクト Lite 2	グループモードの時のテレポート機能の 項目リスト 20
自動混信回避モード (DCM : デュアルチャンネルモニター) 2	マニュアルでチャンネルを変える 21
グループモード 2	グループチャンネルに名前を付けて表示する 22
テレポート機能 3	ワンクリックハンズフリー機能 22
エリアリサーチ 3	マイクの感度を変える 23
基本的な通話のしかた 4	アクセキーを押した時の動作を変える 23
送信する時 4	CUE 機能に関する設定 24
受信する時 4	Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う 26
便利な機能 4	Bluetooth ヘッドセットで ハンズフリー運用をする 27
CUE (キュー) 機能でスタッフに合図を送る 4	Bluetooth ヘッドセットの マイクの感度を変える 27
ロック機能 4	Bluetooth に関する設定だけを 初期化 (リセット) する 27
ご使用になる前の準備 5	⑤ 全体設定 28
充電をする (充電時間は約3時間) 5	
リチウムイオンバッテリーの取り付け 5	
スピーカーマイク、タイピングマイクの接続 / 取り外し 5	
各部の名前と機能 6	
お使いになる前に 7	
① 始めに運用モードを変更する 7	
② 必要であれば使用エリアの電波状態から 混信の少ないチャンネルを自動で探します 8	
お使いになりながら機能を変更する時は 8	
② 簡易機能の変更 (SRD585 のみ) 8	
③ テレポート機能の変更 8	
④ 全体設定 8	
YAESU コネクト Lite で使用する チャンネルについて 8	
基本的な使いかた	ノーマルモード
運用モードについて 9	ノーマルモード 32
混信があるときに別のチャンネルグループに 自動で移動する 10	UC (ユーザーコード) を変更する 32
MERGE (マージ) 機能 11	現在のチャンネルを変更する 33
② エリアリサーチによるチャンネル設定 12	上空用のチャンネルを使用する 33
③ 簡易機能の変更 (SRD585 シリーズのみ) 13	2つのチャンネルを使用する 34
簡易設定で変更できる項目 14	マイクの感度を変える 35
困ったときに 15	Bluetooth ヘッドセットを使う 35
もし通話ができなくなったときは エアクローンで同期をし直す 15	簡易機能の変更 36
グループ以外の通話が聞こえる時は グループ ID を変える 16	簡易設定で変更できる項目 37
新しいグループ ID に同期する 16	全体設定 38
正常に動かない時は、工場出荷時の 状態に戻す (リセット) 42	故障かな?と思う前に 42
アフターサービス 43	防水性能について 43
電波干渉について 43	2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意 44
定格 44	安全上のご注意 ~必ずお読みください~ 45
索引 46	

はじめに

本機をご使用になるには、電波法で定められている「無線局登録申請」を行い、登録状の交付を受けることが必要です。本機をご使用になる前に、別紙「登録申請の手引き」を参考にして、必ず登録申請を行い、登録状の交付を受けてください

登録申請および開設申請につきましてはご購入いただきました販売店、または当社国内営業部あてにお問い合わせください

◎本機は技術基準適合証明を取得し、ARIB 規格に準拠していますので、他社のデジタル簡易無線機(種別コード「3R 3S 3T 3U」)との互換性を確保しています。ARIB 規格以外の機能の互換性はありません

◎本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています

◎他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります

● 免責事項

◎取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません

◎本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません

正しくご使用いただくために

◎本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります

当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません

◎バッテリーを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります

◎直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください

◎電波法により、トランシーバーやマイクを分解・改造・指定以外の装置を接続することは禁じられています

◎通話する際は、本機から約5センチ離して普通の声量で話してください

◎点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください



リチウムイオンバッテリーはリサイクルできます

リチウムイオンバッテリーが不要になった場合は廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください

注 意

登録状の交付を受けずに本機を運用し、電波を出した場合、不法無線局となり、一年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることになりますので、必ず無線局登録申請を行い、登録状の交付を受けた後に運用を行ってください

YAESUコネクト Lite (特許出願中) は、2つのチャンネルを交互に監視し、グループ以外の混信があると瞬時にチャンネルを移動して混信を回避します (DCM: デュアルチャンネルモニター)

2つのチャンネルの両方に混信がある時は、テレポートキーを長押しするとスタッフ全員の SRD580/SRD585 が別のチャンネルグループに自動で移動します

自動混信回避モード (DCM: デュアルチャンネルモニター)

あらかじめ3種類のチャンネルグループが設定*されています

46ch
42ch

62ch
48ch

33ch
66ch

※工場出荷時の設定です
変更することができます

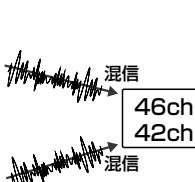
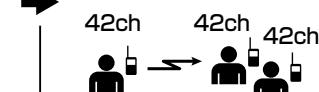
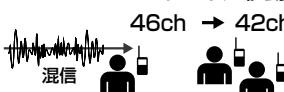


DCM(デュアルチャンネルモニター)

46ch で通話中

混信があると瞬時にバックアップ
チャンネル 42ch に移動

スタッフ全員が自動で
同じ 42ch に移動します



46ch と 42ch の両方に混信がある時は
テレポートキーを長押しします

テレポートキー
長押し

62ch
48ch
チャンネルグループが
自動で切り替わります

グループモード

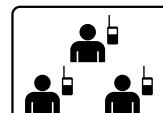
普段はグループごと (最大6グループ) に連絡を取り合い、グループはテレポートキー (SRD580)、[▼]/[▲]キー (SRD585) を短押しして切り替えます

緊急時などの場合は、マージ機能 (特許出願中) で簡単にグループの垣根を無くして全てのスタッフと連絡を取り合うことができます

普段はグループ*ごとに
通話をします

グループA

グループB



*最大6グループ

緊急時などは
誰か1人が CUE
キーを長押し

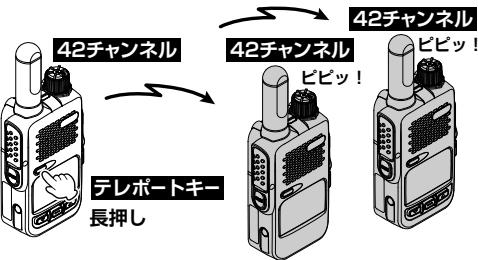
グループの垣根を無くして
全員と連絡がとれます



テレポート機能

混信があるときはテレポートキーを長押しするだけで、スタッフ全員の SRD580/ SRD585 が別のチャンネルグループに自動で移動します

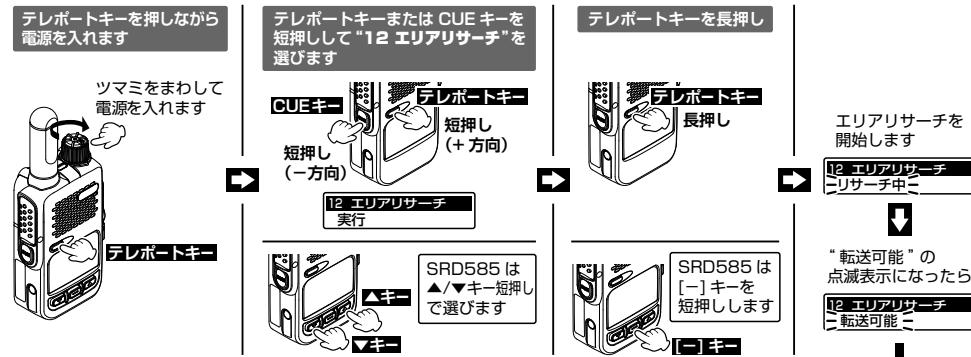
i テレポート機能は、自動混信回避モード (DCM) でのみ動作します



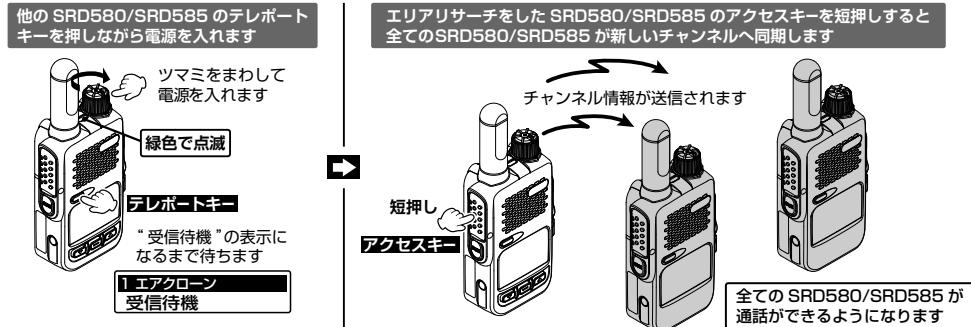
エリアリサーチ

- 使用する前にエリアリサーチ機能を使うことで、使用するエリアの電波状態を分析してあらかじめ混信の少ないチャンネルを見つけることができます
- エリアリサーチを長時間（最低 30 分～1 時間）行うほど、より混信の少ないチャンネルを見つけることができます
- エリアリサーチで選んだチャンネルは、エアクローン機能で他の SRD580/ SRD585 に同期することができます

① 一台の SRD580/ SRD585 でエリアリサーチを始める



② 他の SRD580/ SRD585 にチャンネル情報を同期する

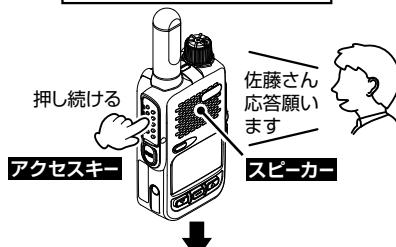


YAESU コネクト Lite は **YAESU** コネクト プロモードと混在して使用することはできませんのでご注意ください

基本的な通話のしかた

送信する時

アクセスキーを押しながらスピーカーに向かって話します



話が終わったらアクセスキーを放します
“ピピッ”と音がして受信に戻ります

受信する時

ツマミをまわして聞きやすい音量に調節します

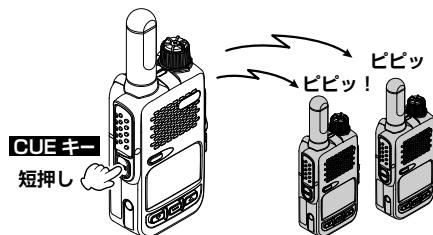


便利な機能

CUE (キュ) 機能でスタッフに合図を送る

接客中などに、接客相手にわからないようにスタッフに合図を送ることができます

アラーム音などを変更することができます。設定の変更方法は応用編の“CUE 機能に関する設定”(24 ページ) を参照してください



ロック機能

アクセスキーと CUE キー以外のキーをロックすることができます

SRD585 の場合

[▼] キーを長押しするとキーをロックします。もう一度 [▼] キーを長押しするとロックを解除します

SRD580 の場合

一度電源を切り、アクセスキーを押しながら電源を入れるとキーをロックします。もう一度同じ操作をするとロックを解除します

SRD585 の場合

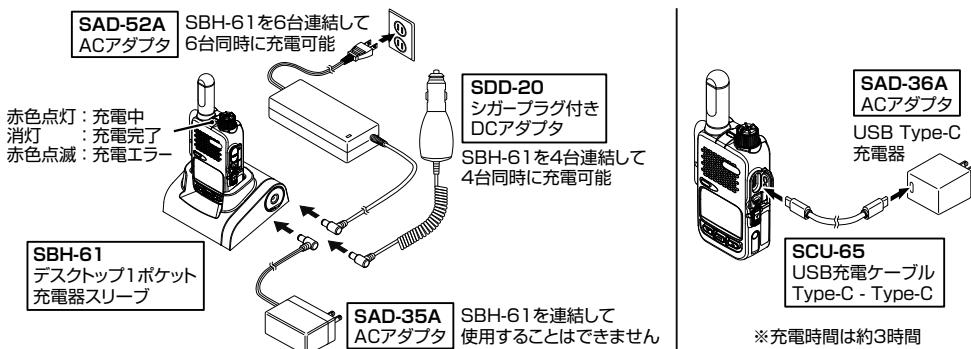


SRD580 の場合



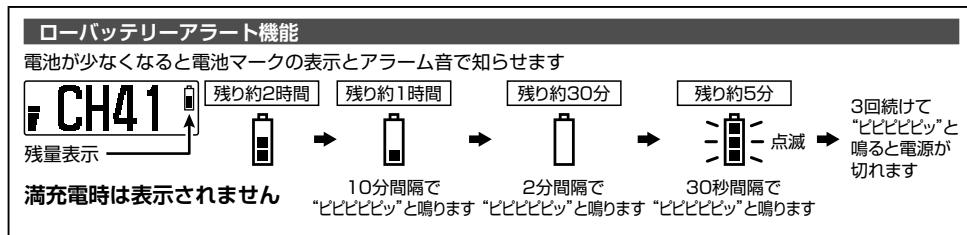
ご使用になる前の準備

充電をする（充電時間は約3時間）



● 使用可能時間*：約 13 時間（ノーマルモード時）

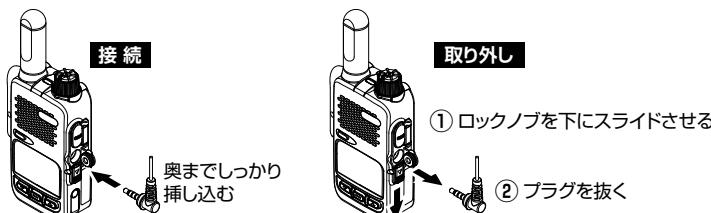
*送信出力 2W、送信5：受信5：待受 90 の割合で運用時バッテリーセーフ機能オン、Bluetooth機能オフ



リチウムイオンバッテリーの取り付け

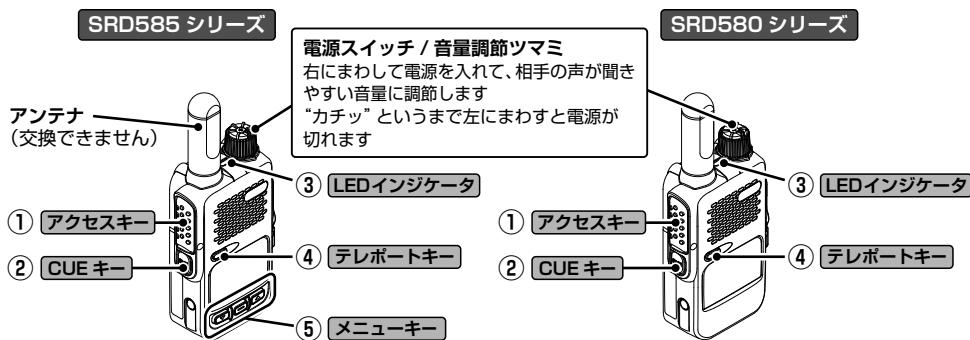


スピーカーマイク、タイピンマイクの接続 / 取り外し



i スピーカーマイクやタイピンマイク、イヤピースは、当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

各部の名前と機能



① アクセスキーの操作

送信する時に押します

押している間は送信を続け、放すと受信に戻ります

アクセスキーは **③ アクセスキー動作** (29 ページ) で好みにあわせて操作方法を変えることができます

② CUE キーの操作

自動混信回避：短押し → CUE 機能でメンバー全員にモード時 アラームを鳴らして合図を送ることができます

グループモード時：短押し → CUE 機能でメンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます
：長押し → マージ機能でグループ全体で連絡を取り合うことができます

③ LED インジケーター

緑点灯：受信中

緑点滅：・異なるグループ ID を受信したとき
(音声はミュートになっています)
・個別の設定（機能設定項目）を変更中

赤点灯：・送信中
・エアクローンデータ転送中

オレンジ点灯：マージ (MERGE) 機能で送信中
赤と緑の点滅：エアリサーチ機能動作中

赤の速い点滅：チャンネルが使用中で送信できないとき

④ テレポートキー

自動混信回避モード時：短押し → 現在のチャンネルと2つ目のチャンネルを切替え
長押し → テレポート動作でチャンネル自動変更

グループモード時：短押し → 別のグループへ移動

テレポート機能の設定を変える

詳しくは “テレポート機能を変更する” (18 ページ) を参照してください

⑤ メニューキー ([▼]/[－]/[▲]) の操作 (SRD585 シリーズのみ)

▼キー	[－]キー	▲キー
チャンネルを手動で移動 長押し → キーをロック もう一度長押し → ロック解除	長押し → 簡易メニュー設定画面 アクセスキーを短押しで元の画面に戻ります	・チャンネルを手動で移動 自動混信回避モード時 長押し → テレポート動作で チャンネル自動変更

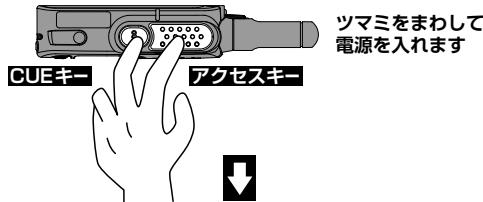
お使いになる前に

3つのモードから用途に合ったモードを選べば、すぐに業務にあった柔軟な運用が可能です
出荷時は自動混信回避モードになっていますので、そのまま自動混信回避モードでご使用になる場合は運用モードを変える必要はありません

① 始めに運用モードを変更する（工場出荷時は自動混信回避モードです）

モードを変える準備を行う

- ① 1台のトランシーバーでCUEキーとアクセスキーを押しながら電源を入れます



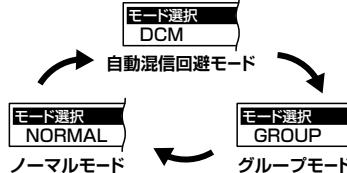
モードを変える

- ② テレポートキーを短押ししてモードを選びます

SRD580はテレポートキーで選択します



SRD585は▲/▼キーで選択します



エアクローンで同期する

- ③ 他のSRD580/585をテレポートキーを押しながら電源を入れます



- ④ モードを変えたSRD580/585のアクセスキーを短押しします



運用モードは始めに設定を行えば、その後は変更する必要はありません

② 必要であれば使用エリアの電波状態から混信の少ないチャンネルを自動で探します → エリアリサーチを行う 12 ページ
(テレポートキーを押しながら電源を入れる)

設定後はエアクローンで全ての SRD580/585 を同期してください
混信の少ないエリアでは、エリアリサーチを行う必要はありません

お使いになりながら機能を変更する時は

② 簡易機能の変更 (SRD585 のみ)
(フロントパネルの [-] キーを長押しする) 13 ページ

よく使う機能は、使用状況にあわせて簡単に設定を変えることができます

③ テレポート機能の変更 (テレポートキーを押しながら電源を入れる) 18 ページ

テレポート機能に関する設定を変更します
設定後はエアクローンで全ての SRD580/585 を同期してください

④ 全体設定 (CUE キーを押しながら電源を入れる) 28 ページ

詳細な設定を変更します
秘話設定は、設定後に “F14 設定内容転送” で他の全ての SRD580/585 にコピーしてください

YAESU コネクト Lite で使用するチャンネルについて

本機の工場出荷は、A-ch ~ L-ch には以下のチャンネルが設定されています

A-ch	B-ch	C-ch	D-ch	E-ch	F-ch	L-ch
46	62	33	42	48	66	60

運用モードについて

ご使用の前に業務にあったモードに設定してください

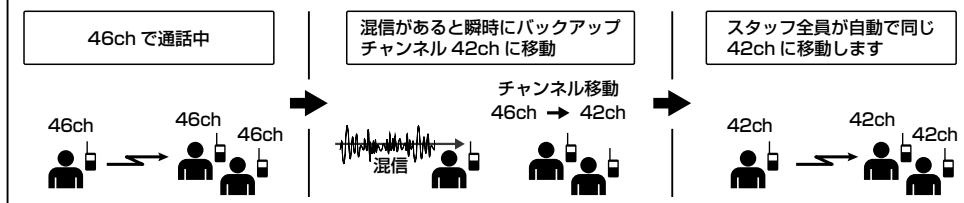
YAESU コネクト Lite は用途にあわせて 2 つのモードを選びますので、面倒な設定をしなくてもそのまますぐに業務にあった柔軟な運用が可能です

自動混信回避モード (DCM)

メンバー同士の連絡を混信の心配なく簡単に使えます

運用モードを“自動混信回避モード”(DCM: デュアルチャンネルモニター)に設定します。モードの変えかたは 7 ページをお読みください

デュアルチャンネルモニター機能で、混信があった時は何もしなくとも自動で瞬時に混信のないバックアップチャンネルへ移動、何事もなかったかのように続けて通話をすることができます。混信が起きて通話ができなくなるという問題がなくなり、特に繁華街や複数の施設が入っている複合ビルなどでも安心して通話を行うことができます



自動混信回避モードで使用中にチャンネルが変わっている事がありますが、これは混信があった時に自動で空いているチャンネルへ移動する機能が動作したためです。そのまま通話を続けることができます

トランシーバーが自動で混信を回避してくれますので、混信があっても気にすることなく通話を続けることができます

自動混信回避モードでは、混信があると自動で混信のないチャンネルへ移動しますが、あらかじめ設定されている 6 つのチャンネルの間をテレポートキーを押して手動で移動することもできます

工場出荷時は A-ch ~ F-ch には以下のチャンネルが設定されています

A-ch	B-ch	C-ch	D-ch	E-ch	F-ch
46	62	33	42	48	66

6 つのチャンネルは、エリアリサーチで新しいチャンネルへ移動することができます

任意のチャンネル変更については“② エリアリサーチによるチャンネル設定”(12 ページ) を参照してください

個別にチャンネルを設定したい時は“マニュアルでチャンネルを変える”(21 ページ) をお読みください

他人の声が聞こえる時は、グループ ID を変更します

変更の方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える”(16 ページ) をお読みください

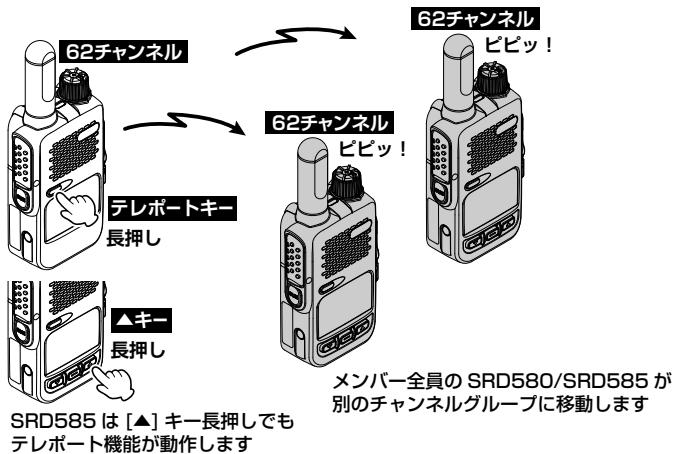
通話ができないときは、エアクローンで他の SRD580/585 の設定を同期してください

エアクローンの方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”(15 ページ) をお読みください

混信があるときに別のチャンネルグループに自動で移動する

混信があるときにテレポートキーの長押しで、スタッフ全員の SRD580/SRD585 が別のチャンネルグループに自動で移動します（テレポート機能）

一人がテレポートキーを長押しします



グループモード

複数のグループが連絡を取り合っている業務に最適です

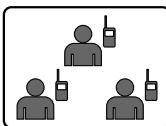
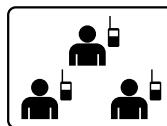
運用モードを“グループモード”に設定します。モードの変えかたは7ページをお読みください

フロント係、客室係、駐車場、レストランなど、複数のグループが別々に連絡を取り合うホテルなどで連絡に最適なモードです。最大6つのグループまで設定することができ、通常はグループ内だけ連絡を行いますが、緊急時はグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取り合うことができます

グループで別々に通話ができます

グループA

グループB



誰か1人が
CUEキーを
長押し

グループの垣根を無くして
全員で通話ができます



フロント係は“Aグループ”、客室係は“Bグループ”、駐車場係は“Cグループ”的ように、部門ごとに使用するグループチャンネルを選んで使うことができます

最大6グループで使うことができます

グループを選ぶ (Aグループ～Fグループ)

SRD580の場合：テレポートキーを短押しするたびにAグループ～Fグループを順番に切り替えます



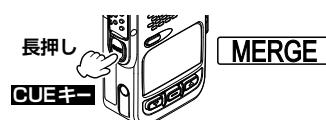
SRD585の場合：[▼]/[▲]を短押しするたびにAグループ～Fグループを順番に切り替えます

画面で、選択したグループを確認して通話を行います

MERGE (マージ) 機能 (所属グループの垣根を取り払って全員と連絡を取り合う)

CUEキーを長押しすると、スタッフ全員と連絡をとることができます

1. CUEキーを長押しします → “MERGE”的表示になったら放します
2. アクセスキーを押して話すと、スタッフ全員と連絡がとれます
3. 送信中は“MERGE”的表示が点滅します
3. 再びCUEキーを長押しすると、各グループごとの通話に戻ります



グループで別々に通話ができます

グループA

グループB

誰か1人が
CUEキーを
長押し

グループの垣根を無くして
全員で通話ができます



② エリアリサーチによるチャンネル設定

エリアリサーチ機能は、使用するエリアの電波状態を分析して、あらかじめ混信が起こりにくいチャンネルを選ぶことができます

使用する前にエリアリサーチ機能を使って混信の少ないチャンネルを見つけます

1台のSRD580/585でエリアリサーチを始める

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます



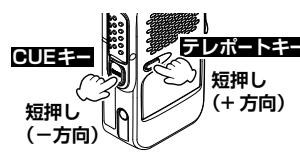
ツマミをまわして電源を入れます
緑色で点滅

テレポートキー

1 エアローン
受信待機 “受信待機”の表示になるまで待ちます

②

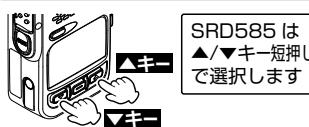
テレポートキーまたはCUEキーを短押しして“12 エリアリサーチ”を選択します



短押し
(-方向)

長押し
(+方向)

12 エリアリサーチ 実行



▲キー
▼キー

SRD585は
▲/▼キー短押し
で選択します

③
↓
④

テレポートキーを長押し



エリアリサーチを開始します



[−]キー

SRD585は
[−]キー短押し
で選択します

そのままの状態でしばらく放置します

エリアリサーチ機能が電波の使用状況を自動的に分析

エリアリサーチ機能は継続して数分間から数時間行ってください

⑤

他のSRD580/585のテレポートキーを押しながら電源を入れます



ツマミをまわして電源を入れます
緑色で点滅

テレポートキー
“受信待機”の表示になるまで待ちます

1 エアローン
受信待機

⑥

エリアリサーチをしたSRD580/585のアクセキーを短押しすると全てのSRD580/585が新しいチャンネルへ同期します



設定した情報が送信されます

1 エアローン
送信実行

⑦

全てのSRD580/585が通話ができるようになります

③ 簡易機能の変更 (SRD585 シリーズのみ)

使用頻度の高い 12 種類の設定項目（次ページの表）をすぐに呼び出し変更することができます

①

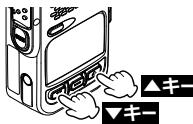
[-] キーを長押しします



長押し
[-] キー

②

▼キーまたは▲キーを短押しして設定する項目を選択します



▲キー
▼キー

③

[-] キーを短押し



短押し
[-] キー

設定項目が表示されます

例

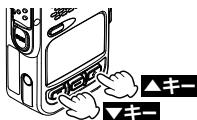
2 ピーピー音量
MID

現在の設定が点滅します

6 マイク感度
-MID-

④

▼キーまたは▲キーを短押しして設定を選択します



▲キー
▼キー

⑤

[-] キーを短押し
設定項目に戻ります



短押し
[-] キー

設定が反映されます

6 マイク感度
HIGH 1

⑥

アクセスキーを短押しします
通常の運用画面に戻ります



短押し
アクセスキー

簡易設定で変更できる項目

機能項目	出荷時の設定	機能
1 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	<p>ON 画面の照明、LED インジケータが点灯します</p> <p>OFF 画面の照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します</p> <p>全消灯 画面の照明、LED インジケータが点灯しなくなります。明かりの使用を制限された環境で使用する時に設定してください</p>
2 ピーブ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るピーブ音の音量を選択できます	MID	<p>OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大</p>
3 CUE ピーブ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ピーブ音の音量を選択できます	HIGH 1	<p>OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大</p>
4 受信ピーブ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	<p>OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大</p>
5 送信ピーブ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択できます	MID	<p>OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大</p>
6 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	<p>LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大</p>
7 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	<p>LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大</p>
8 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	プレスツートーク	<p>プレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します放すと受信に戻ります</p>
		<p>ハンズフリー感度小 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします</p>
		<p>ハンズフリー感度中 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使用します</p>
		<p>ハンズフリー感度大 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします</p>
		<p>連続送信 キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます</p>
		<p>受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります</p>
9 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ～ レベル 15 (数字が大きいほど明るくなります)
10 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン / オフすることができます	OFF	<p>OFF Bluetooth 機能をオフにします</p> <p>ON Bluetooth 機能をオンにします</p>
11 ブルートゥースマイク感度 (10 ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	<p>LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大</p>
12 ブルートゥース初期化 (10 ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます		<p>1. “12 ブルートゥース初期化” にあわせます</p> <p>2. テレポートキー*を長押しします → “実行する” が点滅します</p> <p>3. テレポートキー*を長押しします → “初期化完了” が点灯 → “10 ブルートゥース” の項目が表示されたら初期化は終了です</p>
		※ SRD585 の場合は [-] キーを短押しして操作します

困ったときに

もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す

グループのメンバーと通話ができなくなった場合や、通話に関する設定を変えたときは、エアクローンで同期をとることで再び通話ができるようになります

①

全ての SRD580/585 で
テレポートキーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



“受信待機”の表示に
なるまで待ちます

1 エアクローン
受信待機

②

一台の SRD580/585 の アクセス
キーを短押しすると全ての SRD580/
585 が同期されます



設定した情報が送信されます

1 エアクローン
送信実行

③

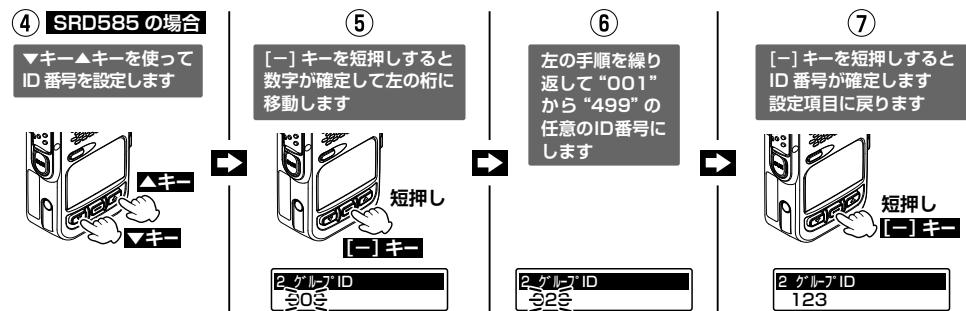
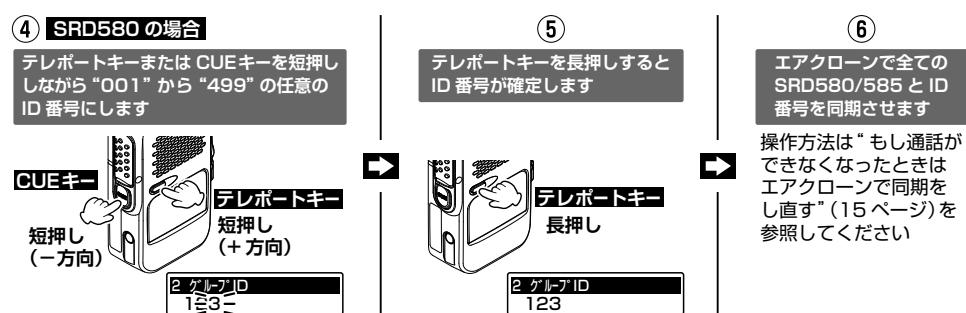
全ての SRD580/
585 が通話がき
るようになります

グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

- ・グループ ID は、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、メンバー全員が同じグループ ID 番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループ ID が “015” になっています（他のグループの声が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください）
- ・ID が異なる他のグループの信号が入ると、自動混信回避モードでは自動で混信のないチャンネルへ移動します。グループモードでは ID が異なる信号はミュートになり聞こえません



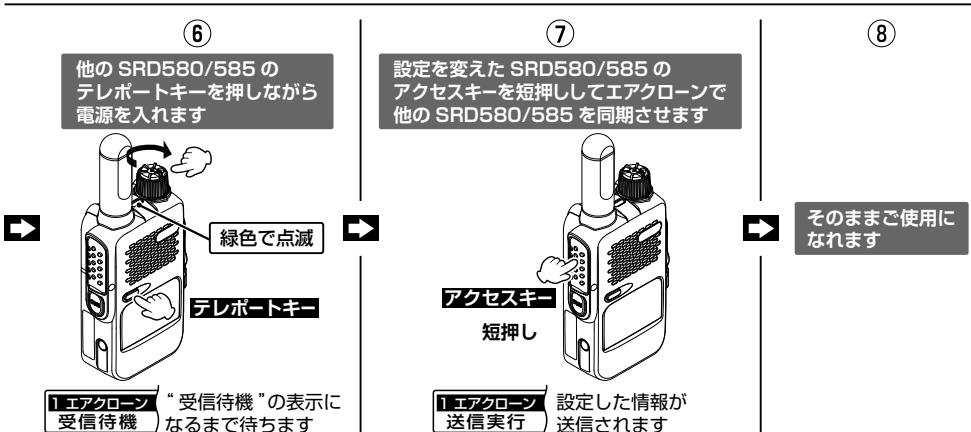
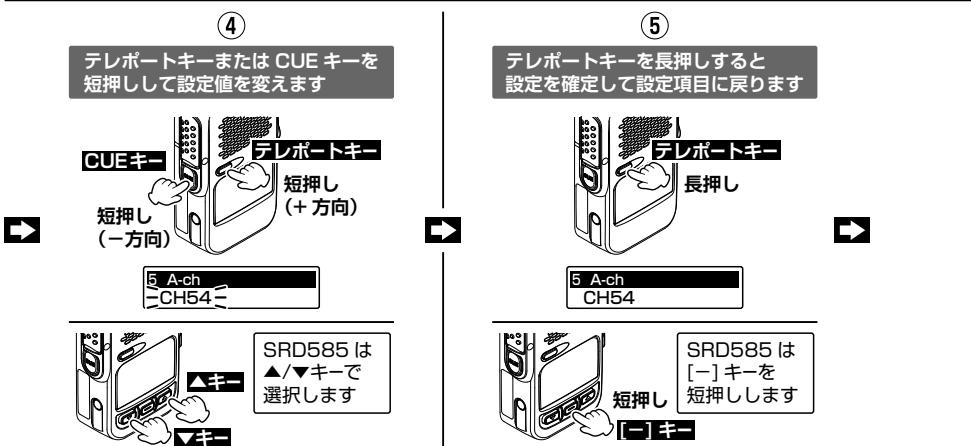
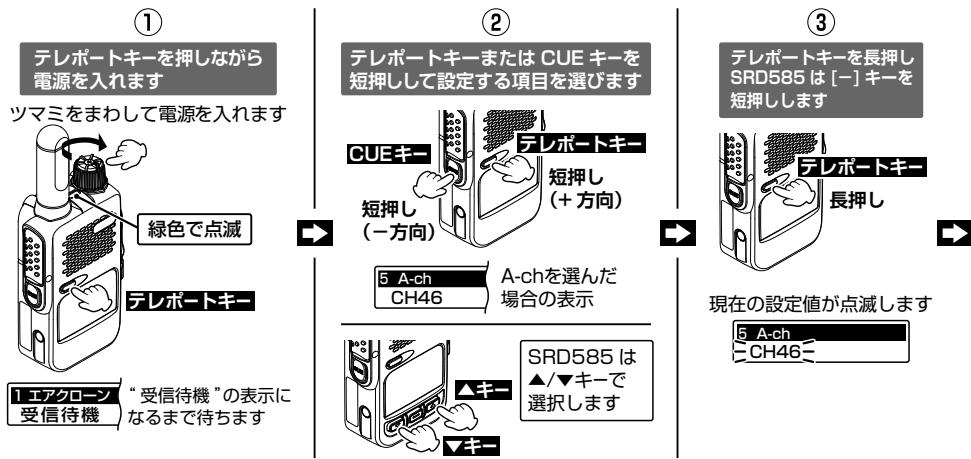
1台のグループ ID を変更してからエアクローンで全ての SRD580/585 を新しいグループ ID に同期する



応用編

必要に応じて各種設定を変更することができます

④ テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）



自動混信回避モードの時のテレポート機能の項目リスト

グループ内の全ての SRD580/SRD585 の設定内容を同期したり、必要に応じて混信を気にせずに通信できる各種の設定を変更します

テレポートキーを押しながら電源を入れると、設定モードになります

項目	出荷時の設定	機能と表示
1 エアクローン 1台のSRD580/585で設定した内容を他のSRD580/585にコピーすることができます	-	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 1 エアクローン 受信待機 </div> <div style="text-align: center;"> 1 エアクローン 送信実行 </div> <div style="text-align: center;"> 1 エアクローン 受信完了 </div> </div> <p>操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”(15 ページ)を参照してください</p>
2 グループ ID 同じグループであることを識別するID番号です。ID番号が違うと通話ができません。他のグループが同じID番号を使っていて混信が起こる場合は、ID番号を変えます	2 グループ ID 015	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 2 グループ ID 001 </div> <div style="text-align: center;"> 2 グループ ID 499 </div> </div> <p>操作方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループIDを変える”(16 ページ)を参照してください</p>
3 テレポート送信 混信があるときにスタッフ全員のSRD580/SRD585が別のチャンネルグループに自動で移動するテレポート機能をON/OFFします	(通常是ONで使用します)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 3 テレポート送信 ON </div> <div style="text-align: center;"> 3 テレポート送信 OFF </div> </div> <p>テレポートキーを長押しするとスタッフ全員のSRD580/585が別のチャンネルグループに自動で移動します</p> <p>8 テレポート送信 OFF</p>
5 A-ch ~ 11 L-ch A-chからL-chのそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 5 A-ch CH46 </div> <div style="text-align: center;"> 6 B-ch CH62 </div> <div style="text-align: center;"> 7 C-ch CH33 </div> <div style="text-align: center;"> 8 D-ch CH42 </div> <div style="text-align: center;"> 9 E-ch CH48 </div> <div style="text-align: center;"> 10 F-ch CH66 </div> <div style="text-align: center;"> 11 L-ch CH60 </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 5 A-ch CH01 </div> <div style="text-align: center;"> 5 A-ch CH82 </div> </div> <p>すでに他のch(A-ch～F-ch, L-ch)に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません</p> <p>“CH15”は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません</p> <p>チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”(21 ページ)を参照してください</p>
12 エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、A-ch～L-chの全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに変更します	-	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ リサーチ中 </div> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ 転送可能 </div> </div> <p>エリアリサーチ中(点滅) 使用状況の分析完了(点滅)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ 送信実行 </div> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ 送信完了 </div> </div> <p>他の無線機に送信中 他の無線機に送信完了</p> <p>操作方法は“② エリアリサーチによるチャンネル設定”(12 ページ)を参照してください</p>

グループモードの時のテレポート機能の項目リスト

項目	出荷時の設定	機能と表示
1 エアクローン 1台のSRD580/585で設定した内容を他のSRD580/585にコピーすることができます	-	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 1 エアクローン 受信待機 </div> <div style="text-align: center;"> 1 エアクローン 送信実行 </div> <div style="text-align: center;"> 1 エアクローン 受信完了 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”(15ページ)を参照してください </div>
2 グループ ID 同じグループであることを識別するID番号です。ID番号が違うと通話ができません。他のグループが同じID番号を使っていて混信が起こる場合は、ID番号を変えます	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 2 グループ ID 015 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 2 グループ ID 001 </div> <div style="text-align: center;"> 2 グループ ID 499 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 操作方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループIDを変える”(16ページ)を参照してください </div>
5 GA-ch ~ 11 GL-ch GA-chからGL-chのそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> <div style="text-align: center;"> 5 GA-ch CH46 </div> <div style="text-align: center;"> 6 GB-ch CH62 </div> <div style="text-align: center;"> 7 GC-ch CH33 </div> <div style="text-align: center;"> 8 GD-ch CH42 </div> <div style="text-align: center;"> 9 GF-ch CH48 </div> <div style="text-align: center;"> 10 GF-ch CH66 </div> <div style="text-align: center;"> 11 GL-ch CH60 </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 5 GA-ch ~ 11 GL-ch に設定されたチャンネルを手動で変えることができます </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 5 GA-ch CH01 </div> <div style="text-align: center;"> 5 GA-ch CH82 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”(21ページ)を参照してください </div>
12 エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、GA-ch～GL-chの全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに変更します	-	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ リサーチ中 </div> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ 転送可能 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> エリアリサーチ中(点滅) 使用状況の分析完了(点滅) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ 送信実行 </div> <div style="text-align: center;"> 12 エリアリサーチ 送信完了 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 他の無線機に送信中 他の無線機に送信完了 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 操作方法は“② エリアリサーチによるチャンネル設定”(12ページ)を参照してください </div>

マニュアルでチャンネルを変える (通常は変える必要はありません)

A-ch ~ F-ch (グループモードでは GA-ch ~ GF-ch) には出荷時に予め任意のチャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを 01 ~ 82 の中から選んで変更することができます

変更する方法は、エリアリサーチ機能を使って自動で新たにチャンネルを設定するか、手動でチャンネルごとに希望するチャンネルを設定する方法があります

① エリアリサーチで設定する

エリアリサーチの方法は “② エリアリサーチによるチャンネル設定” (12 ページ) を参照してください

② 手動で設定する

始めに 1 台のチャンネルを変更する

- 一度電源を切れます
- テレポートキーを押しながら電源を入れます

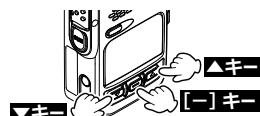
SRD580 の場合

- 1) テレポートキー / CUE キーを短押しして変更したいチャンネルを選びます
- 2) テレポートキーを長押しします (チャンネル番号が点滅します)
- 3) テレポートキー / CUE キーを短押ししてチャンネルを変えます
- 4) テレポートキーを長押しします (チャンネル番号が点滅から点灯に変わります)



SRD585 の場合

- 1) [▼]/[▲] キーを短押しして変更したいチャンネルを選びます
- 2) [-] キーを短押しします (チャンネル番号が点滅します)
- 3) [▼]/[▲] キーを短押ししてチャンネルを変えます
- 4) [-] キーを短押しします (チャンネル番号が点滅から点灯に変わります)



4. 下記の “エアクローン” で、他の SRD580/585 へ変更したチャンネルをコピーします



次に他の SRD580/585 へ変更したチャンネルをエアクローンで同期する

①

- 全ての SRD580/585 で
テレポートキーを押しながら
電源を入れます
- ツマミをまわして電源を入れます



1 エアクローン
受信待機

“受信待機”的表示に
なるまで待ちます

②

- チャンネルを変えた SRD580/585 の
アクセキーを短押しすると全ての
SRD580/585 のチャンネルが同期
されます



1 エアクローン
送信実行

チャンネル情報が
送信されます

③

- 全ての SRD580/
585 が通話ができる
ようになります



- すでに他の ch に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません
- “CH15” は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません

グループチャンネルに名前を付けて表示する

グループモード時の画面に表示されるチャンネルに、名前を付けて表示することができます

専用のエディターを使用しますので、ご希望の場合はお買い上げいただきました弊社代理店にご相談ください

GA46

通常のグループチャンネル表示



CH46
レストラン

名前を付けた場合の表示

ワンクリックハンズフリー機能

・アクセスキーを“チョン”と押すだけで送信がスタートして、話をしている間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻る“ワンクリックハンズフリー”を使用すると、両手で作業をしながら通話ができますので効率よく作業を行うことができます

周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります

・オプションのタイピンマイク、スピーカーマイクをご使用ください

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます

2. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして“8 アクセスキー動作”
を選びます

B アクセスキー動作
プレスツートーク

3. テレポートキー^{*2}を長押しします

4. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押ししてハンズフリーの感度を選びます（下記参照）

5. テレポートキー^{*2}を長押しして設定を確定します

6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

* 1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーで操作します

* 2 : SRD585 の場合は [-] キーを短押しします



ワンクリックハンズフリー機能の感度を調節する

話をやめたのに受信状態に戻らない時や、逆に話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合は感度を変えてください

話をやめたのに受信状態に戻らない場合



B アクセスキー動作
ハンズフリー感度小

通常はこの設定で使用します



B アクセスキー動作
ハンズフリー感度中

話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合



B アクセスキー動作
ハンズフリー感度大

マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、機能設定項目で内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキー^{※1}または CUE キー^{※1}を短押しして、設定する項目(下記参照)を選びます
3. テレポートキー^{※2}を長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を短押しして、設定を変えます
5. テレポートキー^{※2}を長押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です(自動で電源がオフ → オンになります)



※1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
※2 : SRD585 の場合は [-] キーを短押しします

6 マイク感度
MID

- ◎ マイクの感度を設定する → 全体設定項目の “6 マイク感度” で設定します

マイク感度は LOW 1 ←→ LOW 2 ←→ MID ←→ HIGH 1 ←→ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は “MID” に設定されています

- ◎ 外部マイクを使っている時のマイク感度を設定する

→ 全体設定項目の “7 外部マイク感度” で設定します

7 外部マイク感度
MID

マイク感度は LOW 1 ←→ LOW 2 ←→ MID ←→ HIGH 1 ←→ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

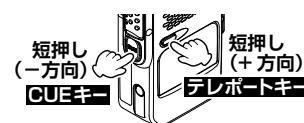
工場出荷時は “MID” に設定されています

アクセスキーを押した時の動作を変える

工場出荷時は、アクセスキーを押し続けている時だけ送信し、放すと受信に戻る動作になっています
この動作を、両手で作業をしながら通話ができる “ワンクリックハンズフリー” にしたり、“連続送信” や “受信専用(送信禁止)” にすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を短押しして “8 アクセスキー動作” を選びます
3. テレポートキー^{※2}を長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を短押しして動作を選びます(下記参照)
5. テレポートキー^{※2}を長押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です(自動で電源がオフ → オンになります)



※1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
※2 : SRD585 の場合は [-] キーを短押しします

キーを押し続けているときだけ送信し、放すと受信に戻ります(工場出荷時の設定) → 8 アクセスキー動作
フレスツートーク

キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります
周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします → 8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度小

キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります
通常はこの設定で使用します → 8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度中

キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります
話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします → 8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度大

キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます → 8 アクセスキー動作
連続送信

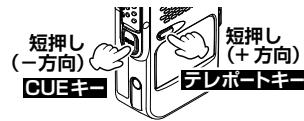
キーを押しても送信しません。受信専用になります → 8 アクセスキー動作
受信専用

CUE 機能に関する設定

CUE 機能に関する設定をすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキーまたは CUE キー^{*1}を短押しして、設定する項目（下記参照）を選びます
 3. テレポートキー^{*2}を長押しします
 4. テレポートキーまたは CUE キー^{*1}を短押しして、設定を変えます
 5. テレポートキー^{*2}を長押しして設定を確定します
 6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）
- ※1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
※2 : SRD585 の場合は [-] キーを短押しします



◎ CUE 信号を受信した時のアラーム音量を調節する

→ 全体設定項目の “3 CUE ピープ音量” で設定します

3 CUEピープ音量
HIGH 1

ピープの音量は OFF ←→ LOW ←→ MID ←→ HIGH 1 ←→ HIGH 2 から選べます
音量オフ 音量小 音量大

工場出荷時は “HIGH 1” に設定されています

◎ CUE 信号を受信した時のアラーム音の種類を変更する

→ 全体設定項目の “F4 CUE ピープ音” で設定します

F4 CUEピープ音
TYPE-A

アラーム音の種類は “TYPE-A”（工場出荷時の設定）“TYPE-B” “TYPE-C” の3種類から選べます

◎ CUE 信号送信のオン / オフ → 全体設定項目の “F3 CUE 送信” で設定します

ON : CUE キーを押すと CUE 信号を送信します（工場出荷時の設定）

OFF : CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません

F3 CUE送信
ON

Bluetoothヘッドセットでワイヤレス通信を行う (SRD580-BT、SRD585-BTのみ)

オプションの Bluetooth ヘッドセット “SSM-BT20” を使用して、ケーブルの無いハンズフリー運用ができます

i 市販の Bluetooth ヘッドセットも使用できますが、すべての Bluetooth ヘッドセットの動作を保証するものではありません。当社の “SSM-BT20” のご使用をお勧めします

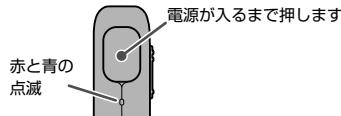
Bluetooth ヘッドセットを使用するには、本機への登録（ペアリング）が必要です

この操作は最初に一度だけ必要で、次回からはトランシーバーとヘッドセットの電源を入れるだけで、自動で接続されます

SSM-BT20 のマルチファンクションキーを長押ししてペアリングモードにします

LED が赤と青で点滅します

続けてトランシーバー側の設定を行います



①

CUE キーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



設定項目が表示されます



②

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして “10 ブルートゥース” を選びます

ノーマルモードの時は “13 ブルートゥース” を選択します



③

テレポートキーを長押し SRD585 は [-] キーを短押しします



現在の設定が点滅します



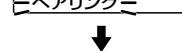
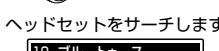
④

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして “ON” にします



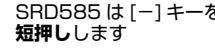
⑤

テレポートキーを長押し SRD585 は [-] キーを短押しします



⑥

テレポートキーを長押しします
接続するヘッドセットが表示されたらテレポートキーを長押しします



アクセキーを短押しします
自動で電源がオフ → オンになり通常の運用画面になります



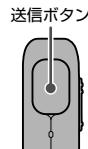
トランシーバーと Bluetooth ヘッドセットが接続中は “” が点灯します

CH41

Bluetooth ヘッドセットでハンズフリー運用をする

送信ボタン（マルチファンクションボタン）を短押しして “ブッ” と音がしたら話します

話すのをやめると “ピピッ” と音がして自動で受信に戻ります



i まわりの声や騒音などで、話が終わっても受信に戻らないときがあります
その場合は、もう一度送信ボタンを押すと受信に戻ります

Bluetooth ヘッドセットのマイクの感度を変える

Bluetooth ヘッドセットを使用している時に相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキー^{※1}または CUE キー^{※1}を短押しして “11^{※2} ブルートゥースマイク感度” を選びます
 3. テレポートキー^{※3}を長押しします
 4. テレポートキー^{※1}または CUE キー^{※1}を短押しして、設定を変えます
- マイク感度は **LOW 1** \longleftrightarrow **LOW 2** \longleftrightarrow **MID** \longleftrightarrow **HIGH 1** \longleftrightarrow **HIGH 2** から選べます
感度小 感度大
- 工場出荷時は “MID” に設定されています
5. テレポートキー^{※3}を長押しして設定を確定します
 6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）
- ※ 1 : SRD585-BT の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
※ 2 : ノーマルモードの時は “14 ブルートゥースマイク感度” を選びます
※ 3 : SRD585-BT の場合は [-] キーを短押しします



Bluetooth に関する設定だけを初期化（リセット）する

Bluetooth ヘッドセットを変えたり使わない時は、Bluetooth に関する設定だけをリセットできます
他の設定はリセットされません

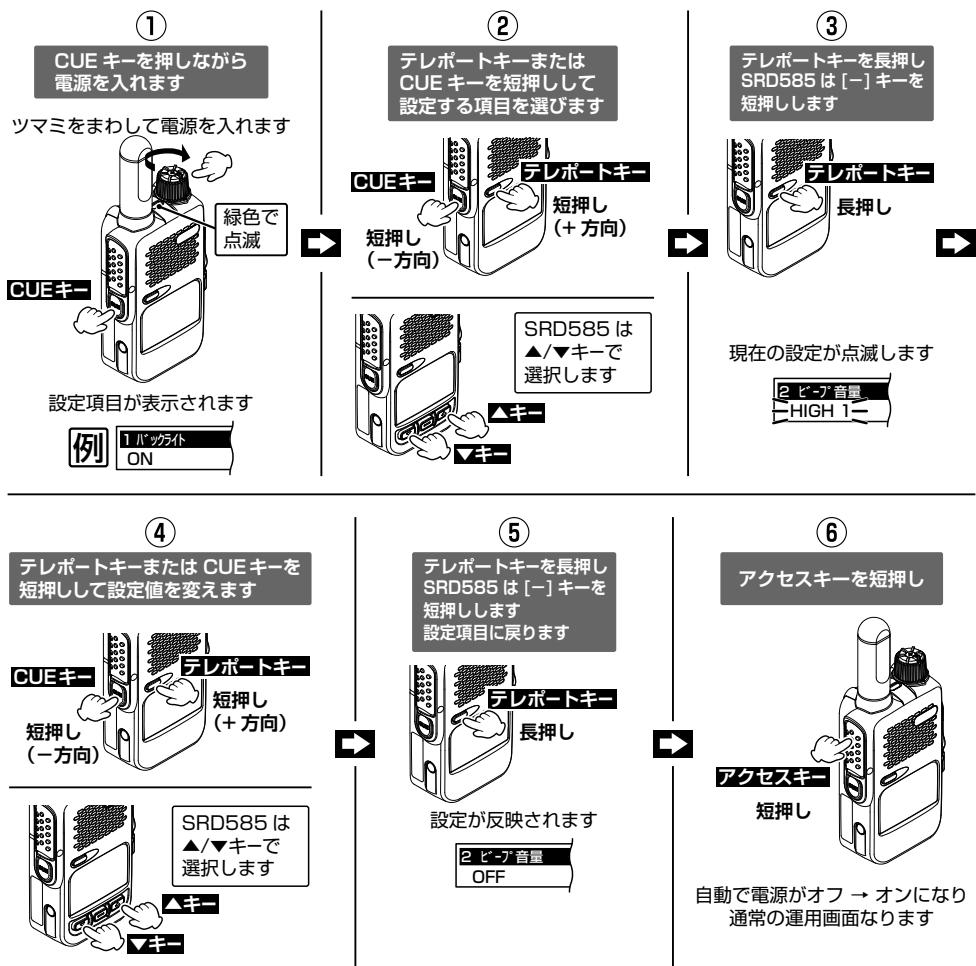
設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキー^{※1}または CUE キー^{※1}を短押しして “12^{※2} ブルートゥース初期化” を選びます
 3. テレポートキー^{※3}を長押しします
“実行する” の表示が点滅します
 4. テレポートキー^{※3}を長押しすると初期化を行います
“初期化中” → “初期化完了” と表示が変わります
 5. “10 ブルートゥース” の表示になったら、初期化は完了です
 6. アクセスキーを短押しします（自動で電源がオフ → オンになります）
- ※ 1 : SRD585-BT の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
※ 2 : ノーマルモードの時は “15 ブルートゥース初期化” を選びます
※ 3 : SRD585-BT の場合は [-] キーを短押しします



⑤ 全体設定

27種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます



現在の設定が点滅します

2 ピーピー音量
HIGH 1

自動で電源がオフ→オンになります
通常の運用画面になります

機能項目	出荷時の設定	機能
1 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面の照明、LEDインジケータが点灯します OFF 画面の照明は点灯しません。LEDインジケータは点灯します 全消灯 画面の照明、LEDインジケータが点灯しなくなります。明かりの使用を制限された環境で使用する時に設定してください
2 ピーピー音量 トランシーバーを操作したときに鳴るピーピー音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
3 CUE ピーピー音量 CUE信号を受信した時に鳴るCUEピーピー音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大

機能項目	出荷時の設定	機能
4 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
5 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
6 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
7 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
8 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	プレスツートーク	<p>プレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります</p> <p>キーを短押しで送信を開始し、話し終えると ハンズフリー感度小 自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく 誤動作する時はこの設定にします</p> <p>キーを短押しで送信を開始し、話し終えると ハンズフリー感度中 自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使 用します</p> <p>キーを短押しで送信を開始し、話し終えると ハンズフリー感度大 自動で受信に戻ります。話しているのに受信 状態に戻ってしまう場合はこの設定にします</p> <p>連続送信 キーを短押しすると送信を開始し、もう一度 短押しするまで送信を続けます</p> <p>受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用にな ります</p>
9 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15 (数字が大きいほど明るくなります)
10 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン / オフすることができます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
11 ブルートゥースマイク感度 (10ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
12 ブルートゥース初期化 (10ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます		<p>1. “12 ブルートゥース初期化” にあわせます 2. テレポートキー[*]を長押しします → “実行する” が点滅します 3. テレポートキー[*]を長押しします → “初期化完了” が点灯 → “10 ブルートゥース” の項目が表示されたら初期化は終了です</p> <p>※ SRD585 の場合は [-] キーを短押しして操作します</p>
F1 受信ビープ音 受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフにすることができます	ON (始 / 終)	<p>ON (開始) 相手の通話を受信開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 相手の通話が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始 / 終) 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません</p>
F2 送信ビープ音 送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます	ON (終了)	<p>ON (開始) 送信を開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 送信が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始 / 終) 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません</p>
F3 CUE 送信 CUE 信号の送信機能をオフにすることができます	ON	<p>ON CUE キーを押すと CUE 信号を送信します (通常はこの状態で 使用します)</p> <p>OFF CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません</p>
F4 CUE ビープ音 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を選択できます	TYPE-A	好みにあわせて 3 パターン (TYPE-A / TYPE-B / TYPE-C) から選択することができます

機能項目	出荷時の設定	機能
F5 外部マイク接続時 外部マイクを接続した時に、本体のアクセスキーを無効にすることができます	アクセスキー有効	アクセスキー有効 外部マイクを接続してもトランシーバー本体のアクセスキーは有効です
		アクセスキー無効 外部マイクを接続すると、トランシーバー本体のアクセスキーは無効になります
		本体マイク有効 イヤピースや外部マイクを接続したとき、トランシーバー本体のマイクが有効になります
F6 バッテリーセーブ バッテリーの消費を抑える機能のオン/オフを選択できます	OFF	ON バッテリーセーブ機能がオンになります OFF バッテリーセーブ機能がオフになります
		OFF 自動で電源はオフになりません（通常はこの状態で使用します） 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 8 時間 選択した時間何も操作を行わないと自動的に電源が切れます
F8 送信出力 送信出力を下げてバッテリーの持続時間を延ばすことができます	HIGH (2W)	HIGH (2W) / LOW (1W) / MID (0.5W)
F9 RX イコライザー 受信音を好みの音質に変更することができます	OFF	OFF イコライザーは無効になります（通常の音質になります） 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
		OFF イコライザーは無効になります（通常の音質になります） 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
		OFF イコライザーは無効になります（通常の音質になります） 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
		OFF イコライザーは無効になります（通常の音質になります） 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F11 秘話 他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます（秘話通信）	OFF	OFF 秘話機能は動作しません（通常はこの状態で使います） ON 秘話機能が動作します
F12 秘話コード 秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
F13 PA 送信 構内アナウンス用スピーカーから音声を出すことができます	ON	ON PA 送信機能がオンになります OFF PA 送信機能がオフになります
F14 設定内容転送 セットモードの内容を他の SRD580/585 にコピーすることができます		1. 設定を送るトランシーバーと受けるトランシーバーを “F14 設定内容転送” にあわせます（“準備中” の表示が “受信待機” になるまで待ちます） 2. 設定を送るトランシーバーのアクセスキーを 短押し します “送信実行” が表示されます 3. コピーが終了すると設定を受けた側のトランシーバーが自動で電源がオフになります、その後自動で電源がオンになります 4. 設定を送った側のトランシーバーは、手動で電源を入れなおしてください
F15 設定リセット 全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		1. “F15 設定リセット” にあわせます 2. テレポートキー [*] を 長押し します → “実行する” が点滅します 3. テレポートキー [*] を 長押し します → “リセット完了” が点灯 → 自動で電源がオフになりその後自動で電源がオンになります ※ SRD585 の場合は [-] キーを 短押し して操作します

ノーマルモードで使用する

YAESUコネクト Lite の機能を持たないトランシーバーと通話する時や上空用チャンネルを使用する時のモードです

ノーマルモード

ノーマルモードで運用する場合は、始めにグループ内の全ての SRD580/585 の運用モードを“ノーマルモード”に変更してください

運用モードの変更方法は“① 始めに運用モードを変更する（工場出荷時は自動混信回避モードです）”（7ページ）を参照してください

YAESU コネクト Lite の機能は使えません

画面に表示されている 1 つのチャンネルだけで通話を行います

UC（ユーザーコード）を変更する

本機のユーザーコードは、工場出荷時に“000”に設定されています。“000”はコードが異なる信号も受信できますので、他のグループとの混信を避けるため“000”以外に設定することをお勧めします

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして、“1 ユーザーコード”を選びます
3. テレポート^{*2}キーを長押しすると、1 衝目の数字が点滅します
4. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして、数字を選びます
ユーザーコードは“000”～“511”を設定できます
5. SRD580 の場合 → テレポートキーを長押しします → 手順 9 に進みます
SRD585 の場合 → 手順 6 に進みます
6. [-] キーを短押しすると、数字が確定して左の桁に移動します
7. 手順 4～6 を繰り返して 3 衝の数字を設定します
8. [-] キーを短押しします
9. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



* 1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーを短押しして操作します

* 2 : SRD585 の場合は [-] キーを長押しします

現在のチャンネルを変更する

使用するチャンネルを CH01 ~ CH82 の中から選んで変更することができます

i “CH15”は呼び出しチャンネルです。一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行ってください

“CHS01”～“CHS15”はパラグライダーなどで運用する際に使用する“上空用”のチャンネルです
上空用チャンネルを使用する場合は下記の“上空用チャンネルを使用する”を参照してください

設定方法

SRD580 の場合

1. テレポートキーを長押しします (チャンネル番号が点滅します)
2. テレポートキー / CUE キーを短押ししてチャンネルを変えます (CH01 ~ CH82 から選べます)
3. テレポートキーを長押しします (チャンネル番号が点滅から点灯に変わります)



SRD585 の場合

- [▼]/[▲]を短押ししてチャンネルを変えます (CH01 ~ CH82 から選べます)



上空用のチャンネルを使用する

パラグライダーなどで上空で運用する際は、上空用チャンネル “CHS01”～“CHS15” を使用します

上空で運用する場合は必ず “CHS01”～“CHS15” を使用してください。他のチャンネルを上空で使用することは禁止されています

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキー^{※1} または CUE キー^{※1}を短押しして “F11 使用チャンネル” の設定項目を選びます
3. テレポート^{※2}キーを長押しします
4. テレポートキー^{※1} または CUE キー^{※1}を短押しして “上空チャンネル” または “全チャンネル選びます”
5. テレポートキー^{※2}を長押しします
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です (自動で電源がオフ → オンになります)



チャンネルの変えかた

SRD580 の場合

1. テレポートキーを長押しします (チャンネル番号が点滅します)
2. テレポートキー / CUE キーを短押ししてチャンネルを変えます
3. テレポートキーを長押しします (チャンネル番号が点滅から点灯に変わります)



SRD585 の場合

- [▼]/[▲]を短押ししてチャンネルを変えます



2つのチャンネルを使用する

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして “F20 2nd 送信チャンネル” の設定項目を選びます
 3. テレポート^{*2}キーを長押しします
 4. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして 2 つ目のチャンネル（セカンドチャンネル）を選びます
 5. テレポートキー^{*2}を長押しします
 6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）
- * 1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
* 2 : SRD585 の場合は [－] キーを短押しします



信号を受信した時のビープ音でメインチャンネルの信号かセカンドチャンネルの信号かを区別できます

メインチャンネルの信号を受信した時 → ピッ
セカンドチャンネルの信号を受信した時 → ピピッ

セカンダリ PTT (CUE キーを押してセカンドチャンネルで送信する)

メインチャンネルとセカンドチャンネルの 2 つのチャンネルで運用する時に、CUE キーを押すとセカンドチャンネルで送信するように設定できます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして “F14 CUE KEY 短押し” の設定項目を選びます
 3. テレポート^{*2}キーを長押しします
 4. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして “セカンダリ PTT” 選びます
 5. テレポートキー^{*2}を長押しします
 6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）
- メインチャンネルで送信するとき → アクセスキーを押す
セカンドチャンネルで送信するとき → CUE キーを押す
- * 1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
* 2 : SRD585 の場合は [－] キーを短押しします



マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、機能設定項目で内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして、設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキー^{*2}を長押しします
4. テレポートキー^{*1}または CUE キー^{*1}を短押しして、設定を変えます
5. テレポートキー^{*2}を長押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



- ※ 1 : SRD585 の場合は [▼]/[▲] キーで操作します
※ 2 : SRD585 の場合は [-] キーを短押しします

- ◎ マイクの感度を設定する → 全体設定項目の “9 マイク感度” で設定します

12 マイク感度
MID

マイク感度は LOW 1 ←→ LOW 2 ←→ MID ←→ HIGH 1 ←→ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は “MID” に設定されています

- ◎ 外部マイクを使っている時のマイク感度を設定する

13 外部マイク感度
MID

→ 全体設定項目の “10 外部マイク感度” で設定します

マイク感度は LOW 1 ←→ LOW 2 ←→ MID ←→ HIGH 1 ←→ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は “MID” に設定されています

Bluetooth ヘッドセットを使う

Bluetooth ヘッドセットを使用するには、本機への登録（ペアリング）が必要です

ペアリングの方法は “Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う”（26 ページ）を参照してください

簡易機能の変更

使用頻度の高い 15 種類の設定項目をすぐに呼び出すことができます

①

SRD580 の場合
テレポートキーを押しながら
CUE キーを短押しします



②

テレポートキーまたは CUE
キーを短押しして設定する
項目を選びます



③

テレポートキーを長押し
SRD585 は [-] キーを
短押しします



現在の設定が点滅します

SRD585 の場合
[-] キーを長押しします



設定項目が表示されます

例

2 ピーブ音量
MID

④

テレポートキーまたは CUE キーを
短押しして設定値を変えます



⑤

テレポートキーを長押し
SRD585 は [-] キーを
短押しします
設定項目に戻ります



⑥

アクセスキーを短押しします
通常の運用画面に戻ります



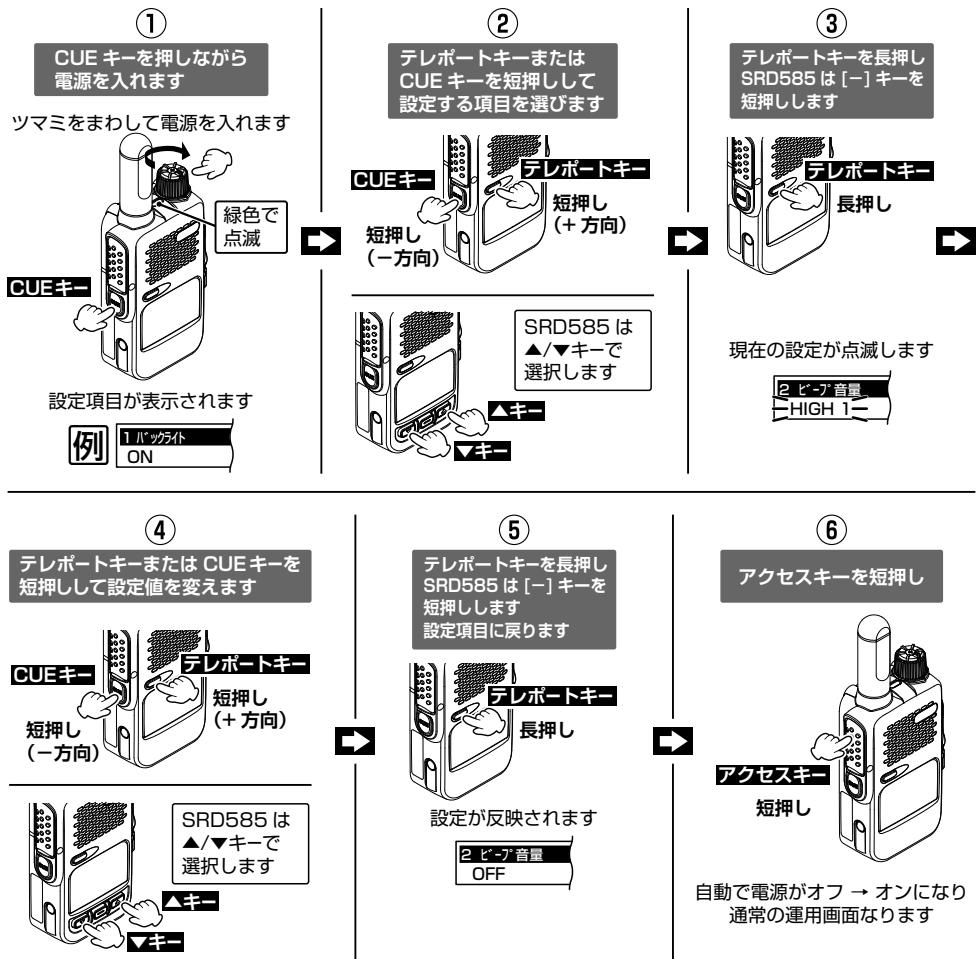
簡易設定で変更できる項目

機能項目	出荷時の設定	機能
1 ユーザーコード 通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
2 祕話機能 他のグループに自分の通話内容を聞き取りにくくすることができます(秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません(通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します
3 祕話コード 秘話通信をする時のコードを設定します	00001	00001 ~ 32767
4 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面の照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面の照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面の照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された環境で使用する時に設定します
5 ピーブ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るピーブ音の音量を選択できます	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
6 CUE ピーブ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ピーブ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
7 受信ピーブ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択できます	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
8 送信ピーブ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択できます	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
9 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
10 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
11 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	プレスツートーク	プレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります ハンズフリー感度大 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。話ししているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
12 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15 (数字が大きいほど明るくなります)
13 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン / オフすることができます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
14 ブルートゥースマイク感度^{※1} Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
15 ブルートゥース初期化^{※1} Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます		1. “15 ブルートゥース初期化”にあわせます 2. テレポートキー ^{※2} を長押しします → “実行する”が点滅します 3. テレポートキー ^{※2} を長押しします → “初期化完了”が点灯 → “13 ブルートゥース”の項目が表示されたら初期化は終了です ※ 2 : SRD585 の場合は [-] キーを短押しして操作します

※ 1 : “13 ブルートゥース”が ON の時のみ表示されます

全体設定

40種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます



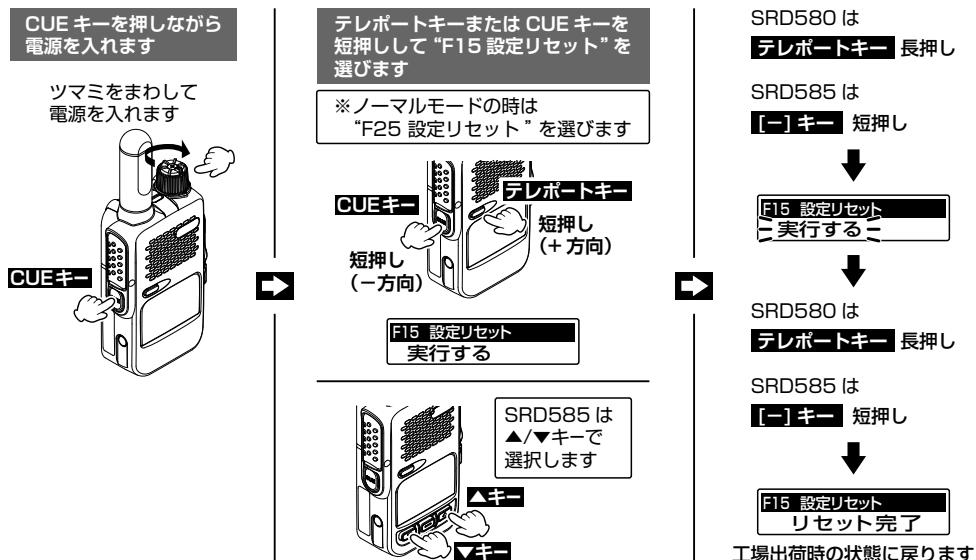
機能項目	出荷時の設定	機能
1 ユーザーコード 通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000～511
2 密話機能 通話時に、他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます（密話通信）	OFF	OFF 密話機能は動作しません（通常はこの状態で使います） ON 密話機能が動作します
3 密話コード 密話通信をする時の密話コードを設定します	00001	00001～32767

機能項目	出荷時の設定	機能
4 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面の照明、LED インジケータが点灯します
		OFF 画面の照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します
		全消灯 画面の照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された環境で使用する時に設定してください
5 ピーブ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るピーブ音の音量を選択できます	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
6 CUE ピーブ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ピーブ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
7 受信ピーブ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
8 送信ピーブ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択できます	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
9 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → 感度中 → 感度大
10 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → 感度中 → 感度大
11 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	プレスツートーク	プレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります
		ハンズフリー感度小 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします
		ハンズフリー感度中 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使用します
		ハンズフリー感度大 キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします
		連続送信 キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます
		受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
12 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15 (数字が大きいほど明るくなります)
13 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン / オフすることができます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
14 ブルートゥースマイク感度 (13ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → 感度中 → 感度大
15 ブルートゥース初期化 (13ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます		1. “15 ブルートゥース初期化” にあわせます 2. テレポートキーを長押しします → “実行する” が点滅します 3. テレポートキーを長押しします → “初期化完了” が点灯 → “13 ブルートゥース” の項目が表示されたら初期化は終了です
F1 受信ピーブ音 受信時に相手の通話開始・終了を確認するピーブ音をオフにすることができます	ON (始 / 終)	ON (開始) 相手の通話を受信開始した時だけピーブ音が鳴ります ON (終了) 相手の通話が終了した時だけピーブ音が鳴ります ON (始 / 終) 受信開始と受信終了時にピーブ音が鳴ります OFF ピーブ音は鳴りません

機能項目	出荷時の設定	機能	
F2 送信ビープ音 送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます	ON (終了)	ON(開始) 送信を開始した時だけビープ音が鳴ります ON(終了) 送信が終了した時だけビープ音が鳴ります ON(始/終) 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません	
F3 CUE送信 CUE信号の送信機能をオフにすることができます	ON	ON CUEキーを押すとCUE信号を送信します(通常はこの状態で使用します) OFF CUEキーを押してもCUE信号を送信しません	
F4 CUEビープ音 CUE信号を受信した時に鳴るアラーム音を選択できます	TYPE-A	好みにあわせて3パターン(TYPE-A/TYPE-B/TYPE-C)から選択することができます	
F5 外部マイク接続時 外部マイクを接続した時に、本体のアクセスキーを無効にすることができます	アクセスキー有効	アクセスキー有効 外部マイクを接続してもトランシーバー本体のアクセスキーは有効です アクセスキー無効 外部マイクを接続すると、トランシーバー本体のアクセスキーは無効になります 本体マイク有効 イヤピースや外部マイクを接続したとき、トランシーバー本体のマイクが有効になります	
F6 バッテリーセーブ バッテリーの消費を抑える機能のオン/オフを選択できます	OFF	ON バッテリーセーブ機能がオンになります OFF バッテリーセーブ機能がオフになります	
F7 オートパワーオフ 一定時間何も操作を行わない場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます	OFF	OFF 自動で電源はオフになりません (通常はこの状態で使用します) 1時間/2時間/4時間/8時間 選択した時間何も操作を行わないと自動的に電源が切れます	
F8 送信出力 送信出力を下げてバッテリーの持続時間を延ばすことができます	HIGH(2W)	HIGH(2W)/* / MID(1W) / LOW(0.5W) ※上空チャンネルではHIGHに設定しても1Wになります	
F9 RXイコライザー 受信音を好みの音質に変更することができます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります	
F10 TXイコライザー 送信音を好みの音質に変更することができます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります	
F11 使用チャンネル 使用するチャンネルを“地上用チャンネル”、“上空用チャンネル”“地上用と上空用の両方のチャンネル”から選択できます	地上チャンネル	地上用チャンネル(CH01～CH82)だけで運用します 全チャンネル 地上用(CH01～CH82)と上空用(CHS01～CHS15)の全てのチャンネルで運用します 上空チャンネル 上空用チャンネル(CHS01～CHS15)だけで運用します	
F12 弱電界アラーム 受信信号が微弱になったことをアラームで知らせる機能をオン/オフすることができます	OFF	OFF 弱電界アラーム機能は動作しません ON 弱電界アラーム機能が動作します	
F13 コントラスト 画面表示のコントラストを調節することができます	レベル08	レベル01～レベル15 (数字が大きいほどコントラストが強くなります)	
F14 CUE KEY 短押し CUEキーを短押しした時の動作を選択します	CUE	CUE メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ります キーロック アクセスキー以外のキーをロック/ロック解除をします セカンダリPTT “F20 2nd送信チャンネル”で設定したチャンネルで送信します 無効 短押しは無効になります	
F15 CUE KEY 長押し CUEキーを長押しした時の動作を選択します “F14”的設定を“セカンダリPTT”にした時は“無効”以外は選べません	PA	PA 現在のチャンネルでPA機能が動作します PA+ “F20 2nd送信チャンネル”で設定したチャンネルでPA機能が動作します キーロック アクセスキー以外のキーをロック/ロック解除をします 無効 長押しは無効になります	

機能項目	出荷時の設定	機能
F16 外部 2nd キー短押し オプションのスピーカーマイクの 2nd PTT キーを短押しした時の動作を選択します	無効	CUE メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ります キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします セカンダリ PTT “F20 2nd 送信チャンネル”で設定したチャンネルで送信します 無効 短押しは無効になります
F17 外部 2nd キー長押し オプションのスピーカーマイクの 2nd PTT キーを長押しした時の動作を選択します		PA 現在のチャンネルで PA 機能が動作します PA+ “F20 2nd 送信チャンネル”で設定したチャンネルで PA 機能が動作します キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします 無効 長押しは無効になります
F18 PA 送信 構内ナウンス用スピーカーから音声を出すことができます	ON	ON PA 送信機能がオンになります OFF PA 送信機能がオフになります
F19 PA 受信 PA 機能の音声をトランシーバーのスピーカーから出力しないようにできます	ON	ON PA 機能で送信された内容を自分のトランシーバーのスピーカーで聞くことができます OFF PA 機能で送信された内容を自分のトランシーバーで聞くことはできません
F20 2nd 送信チャンネル “F14” “F16” の設定を “セカンダリ PTT” または “F15” “F17” の設定を “PA+” にした時に送信するチャンネルを選択できます	CH01	CH01 ~ CH82 “CH15” は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません
F21 ユーザーコード (2nd) セカンダリ PTT で通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
F22 秘話機能 (2nd) セカンダリ PTT で通話時に、他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます (秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します
F23 秘話コード (2nd) セカンダリ PTT で秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
F24 設定内容転送 セットモードの内容を他の SRD580/585 にコピーすることができます	1. 設定を送るトランシーバーと受けるトランシーバーを “F24 設定内容転送” にあわせます (“準備中” の表示が “受信待機” になるまで待ちます) 2. 設定を送るトランシーバーのアクセスキーを短押しします “送信実行” が表示されます 3. コピーが終了すると設定を受けた側のトランシーバーが自動で電源がオフになります、その後自動で電源がオンになります 4. 設定を送った側のトランシーバーは、手動で電源を入れなおしてください	
F25 設定リセット 全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		1. “F25 設定リセット” にあわせます 2. テレポートキー [*] を長押しします → “実行する” が点滅します 3. テレポートキー [*] を長押しします → “リセット完了” が点灯 → 自動で電源がオフになりその後自動で電源がオンになります ※ SRD585 の場合は [-] キーを短押しして操作します

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す（リセット）



故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？修理を依頼される前にお確かめください。

○ 電源が入らない！

- ・リチウムイオンバッテリーが消耗していませんか?
→リチウムイオンバッテリーを充電してください
 - ・リチウムイオンバッテリーの端子が接触不良になっていませんか?
→端子を乾いた布で拭いてください
 - ・リチウムイオンバッテリーが古くなっていますか?
→リチウムイオンバッテリーの寿命です。新しいリチウムイオンバッテリーとお取り替えください

○ 送信できない！

- ・アクセスキーを正しく押していますか？
 - ・アクセスキー動作が“受信専用”になっていませんか？

○ 音がでない！

- ・相手局と同じグループ ID に設定していますか？

○ 通話できない！

- ・相手局と同じチャンネルに設定していますか？
 - ・相手局との距離が離れすぎていませんか？
 - ・相手局と同じグループ ID に設定していますか？
 - ・秘話通信機能が動作していませんか？

→ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと通話できません

◎ “ロック中” と表示されてキー操作ができない！

- ・ロック機能が動作していますので、以下の操作でロック機能を解除してください。

SBD585 の場合：[▼]キーを長押しし、

SBD580の場合：一度電源を切り、アクセスキーや電源ボタンを押しながら電源を入れます

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください
製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします

八重洲無線株式会社

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

TEL : 03-6404-6525

◎ 保証期間はお買い上げの日より 3 年間です

本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします

誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります

◎ リチウムイオンバッテリーは消耗品のため保証対象外です

化学的経年劣化なども保証対象外になります

◎ リチウムイオンバッテリーは消耗品です

充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合はリチウムイオンバッテリーの寿命です

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP67 相当（防塵等級 6^{※1}、防水等級 7^{※2}）の防塵、防水性能を有しています。この性能を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください

- ◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子のアクセサリーコネクタ保護カバーなどに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接當てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください
- ◎ 本機は、水中での使用はできません

※ 1 : 粉塵の侵入から完全に保護されている

※ 2 : 真水 / 静水に水深 1 m の位置で 30 分間没しても機器の動作に影響をおよぼさない

電波干渉について

近距離で複数のグループの人が、複数のチャンネルを使用して通話するような場合に、隣り合うチャンネル同士の電波の干渉により通話に支障が生じることがあります。このような時は、隣り合うチャンネル（例：“01”と“02”）でのご使用を避けていただき、離れたチャンネルを設定していただくことで干渉を軽減することができます

2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意

本製品の Bluetooth を使用して通信をするときは、以下のことに注意してください

この通信の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか Bluetooth のご使用をお控えください
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社国内営業部（電話 03-6404-6525）にお問い合わせください

本製品の Bluetooth の使用周波数・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否を以下に示します



- 「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備
「FH」 : FH-SS 方式
「1」 : 想定干渉距離 10m 以下
「■ ■ ■」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局の帯域を回避可

Bluetooth のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.

U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

定格

送受信周波数	デジタル簡易無線登録局（6.25kHz 間隔、82 波） 351.03125MHz ~ 351.10000MHz 351.20000MHz ~ 351.63125MHz
電波形式	上空用チャンネル（6.25kHz 間隔、15 波） 351.10625MHz ~ 351.19375MHz
変調方式	F1C/F1D/F1E/F1F
通信方式	4 値 FSK
送信出力	単信ブレストーク式
電池持続時間*	2W */1W/0.5W（※上空用チャンネルでは最大 1W になります） 約 13 時間（ノーマルモード）
受信感度	約 13 時間（ノーマルモード） -6dBuV 以下 (BER=1% 時)
低周波出力	1200mW 以上（内蔵スピーカー 4 Ω、10%歪時） 500mW 以上（外部マイクスピーカー 8 Ω、10%歪時）
動作温度範囲	-20°C ~ +60°C
定格電圧	DC3.7V ± 10%
本体寸法	約 W48mm × H89mm × D25mm（突起物含まず）
本体重量	約 148g（リチウムイオンバッテリー SBR-53LI を含む）

※送信出力 2 W、送信 5 : 受信 5 : 待受け 90 の割合による運用時
(バッテリーセーブ機能オン、Bluetooth 機能オフ)

安全上のご注意 ~必ずお読みください~

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください

危険 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

禁止 行ってはならない禁止事項です（例  分解禁止）

注意 必ず守っていただきたい注意事項です

危険

 **自動車を運転しながら交信や操作をしない**

事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります

運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください

 **航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る**

電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります

 **引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない**

発火事故や落下事故などの原因になります

 **電源端子やリチウムイオンバッテリーの端子にはんだ付けやショートをしない**

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります
ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください

 **リチウムイオンバッテリーを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります

警告

 **分解や改造をしない**

本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です

分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります

 **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります

 **心臓ペースメーカー装着者は使用しない**

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります

 **当社指定以外の充電器を使用しない**

火災や故障の原因になります

 **煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオンバッテリーを外す**

火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください

 **心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る**

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因になります

注意

 **指定以外のオプションを使用しない**

ケガの原因になります

また、本体の故障や破損の原因にもなります

 **強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない**

故障の原因になります

 **リチウムイオンバッテリーを指定の充電器で充電するときの温度範囲は 5°C ~ 35°C です**

これ以外の温度での充電は、故障の原因になります

 **磁気カードなどをトランシーバーに近づけない**

キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります

 **トランシーバーを直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない**

変形や変色等の原因になります

 **シンナーやベンジンなどでケースを拭かない**

変形や変色等の原因になります

 **ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください**

索引

記号

ーキーの操作	6
▲キーの操作	6
▼キーの操作	6

数字

2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意	44
2つのチャンネルを使用する	34

B

Bluetooth に関する設定だけを初期化（リセット）する	27
Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う	26
Bluetooth ヘッドセットのマイクの感度を変える	27

C

CUE KEY 短押し	40
CUE KEY 長押し	40
CUE キーの操作	6
CUE キーを押してセカンドチャンネルで送信する	34
CUE 機能に関する設定	24
CUE（キュー）機能	4
CUE 送信	29, 40
CUE ピープ音	29, 40
CUE ピープ音量	14, 28, 37, 39

D

DCM	9
DCM（デュアルチャンネルモニター）	2

I

IP67	43
------	----

L

LED インジケータ	6
------------	---

M

MERGE（マージ）機能	11
--------------	----

P

PA 受信	41
PA 送信	30, 41

R

RX イコライザー	30, 40
-----------	--------

S

SSM-BT20	26
----------	----

T

TX イコライザー	30, 40
-----------	--------

U

UC（ユーザーコード）を変更する	32
------------------	----

Y

YAESU コネクト Lite	2
-----------------	---

YAESU コネクトで使用するチャンネルについて	8
--------------------------	---

あ

合図を送る（CUE 機能）	4
アクセスキーの操作	6
アクセスキーを押した時の動作を変える	23
アフターサービス	43
安全上のご注意	45

う

運用モードについて	9
-----------	---

え

エアクローン	15
エリアリサーチ	3
エリアリサーチによるチャンネル設定	12

お

応用編	17
オートパワーオフ	30, 40
お使いになる前に	7

か

外部 2nd キー短押し	41
外部 2nd キー長押し	41
外部マイクの感度を設定する	23, 35
各部の名前と機能	6
簡易機能の変更	13
簡易設定で変更できる項目	14

き

基本的な通話のしかた	4
キュ機能	4
キュ機能に関する設定	24

く

グループ ID を変える	16
グループ以外の通話が聞こえる時は	16
グループ ID を変える	16
グループチャンネルに名前を付けて表示する	22
グループモード	2, 11
グループを選ぶ（A グループ～F グループ）	11

こ

工場出荷時の状態に戻す（リセット）	42
故障かな？と思う前に	42
ご使用になる前の準備	5
困ったときに	15
コントラスト	40

し

自動混信回避モード	2, 9
弱電界アラーム	40
充電をする	5
受信する時	4
受信ピープ音	29, 39
受信ピープ音量	14, 29, 37, 39
上空用のチャンネルを使用する	33

す	ほ
スピーカーマイクの接続 / 取り外し 5	防水性能について 43
せ	ま
正常に動かない時 (リセット) 42	マージ機能 (デュオモードの時) 11
セカンダリ PTT 34	マイクの感度を変える 23, 35
設定内容転送 30, 41	マニュアルでチャンネルを変える 21
全体設定 28	
そ	め
送信出力 30, 40	メニューキーの操作 6
送信する時 4	メンバーに合図を送る (キュー機能) 4
送信ビープ音 29, 40	
送信ビープ音量 14, 29, 37, 39	や
た	ヤエスコネクト Lite 2
タイピンマイクの接続 / 取り外し 5	
正しくご使用いただくために 1	ゆ
ち	ユーザーコードを変更する 32
チャンネルを変更する 33	
つ	り
通話ができなくなったとき 15	リセット 42
て	リチウムイオンバッテリーの取り付け 5
定格 44	
デュアルチャンネルモニター 2	ろ
テレポートキー 6	ローバッテリーアラート機能 5
テレポート機能 3, 10	ロック機能 4
テレポート機能を変更する 18	
電波干渉について 43	わ
の	ワンクリックハンズフリー機能 22
ノーマルモードで使用する 31	
は	
バックライト 14, 28, 37, 39	
バックライト明るさ 14, 29, 37, 39	
バッテリーセーブ 30, 40	
バッテリーの取り付け 5	
ひ	
ビープ音量 14, 28, 37, 39	
秘話 30, 37, 38	
秘話コード 30, 37, 38	
ふ	
2つのチャンネルを使用する 34	
ブルートゥースに関する設定だけを	
初期化 (リセット) する 27	
ブルートゥースヘッドセットで	
ワイヤレス通信を行う 26	
ブルートゥースヘッドセットの	
マイクの感度を変える 27	
へ	
便利な機能 4	

YAESU

Radio for Professionals

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください
取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります
詳しくは下記の URL をご覧ください

八重洲無線株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F
電話: 03-6404-6525
URL : <https://connect.yaesu.com>

2507L-AS

Printed in Japan

